

恵那市総合計画の策定に向けた

# 市民意識調査結果

- 概要版 -

総合計画策定にあたり、計画に反映するため、市政への評価、個別のまちづくり課題、市民参加の必要性、今後の居留意向など、広く市民の皆さんから意見を伺いました。

調査対象：20歳以上の市民 2,500人

調査方法：郵送配布・郵送回収

回収結果：1,688人（67.5%）

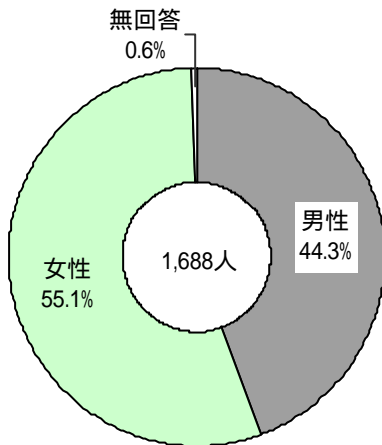
調査期間：平成17年4月

平成17年5月

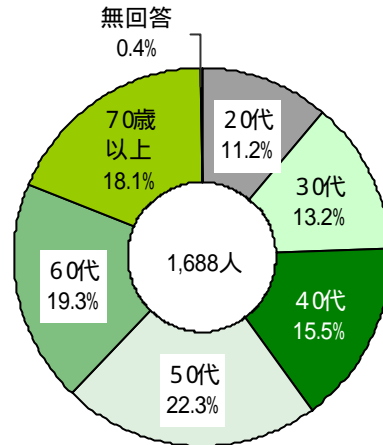
恵 那 市

# 1 回答者の属性

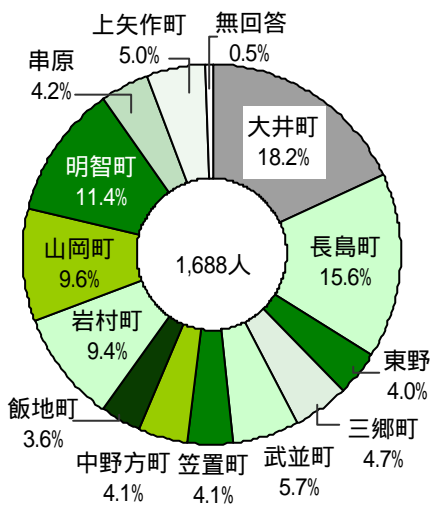
## 性別



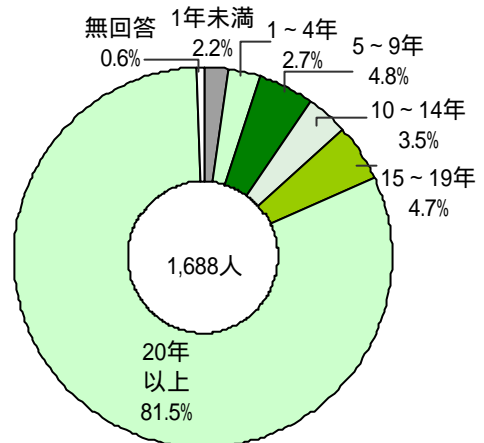
## 年齢



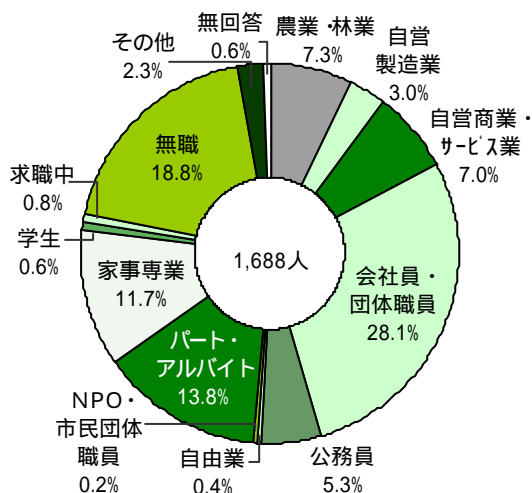
## 居住地



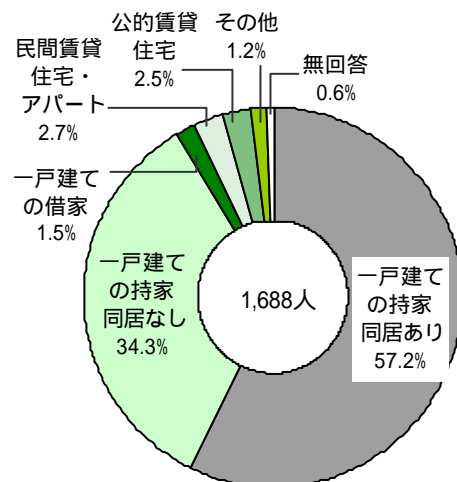
## 居住年数



## 職業



## 住宅の種類

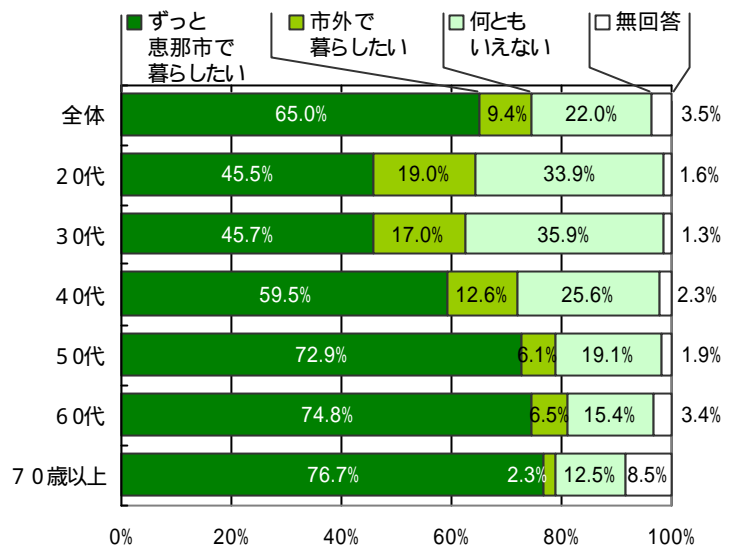


## 2 今後の居住意向

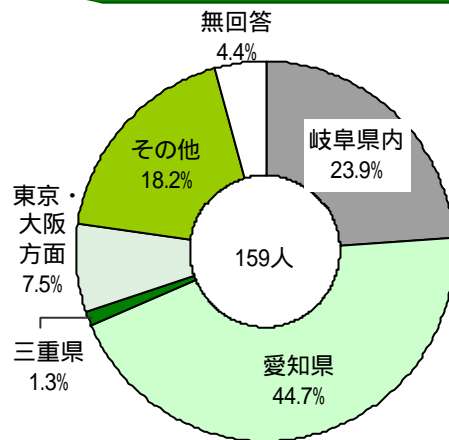
「ずっと恵那市で暮らしたい」とする市民は全体で 6.5 割です。年齢が高くなるほど、その割合は大きく、40代以上では 5 割を超えています。しかし、30 代以下の若者ではその割合は少なく 4.5 割程度となっています。

恵那市以外で暮らしたい方が希望する居住地は、「愛知県」が最も多く、次いで「岐阜県内」となっています。

今後の居住意向（年齢別）



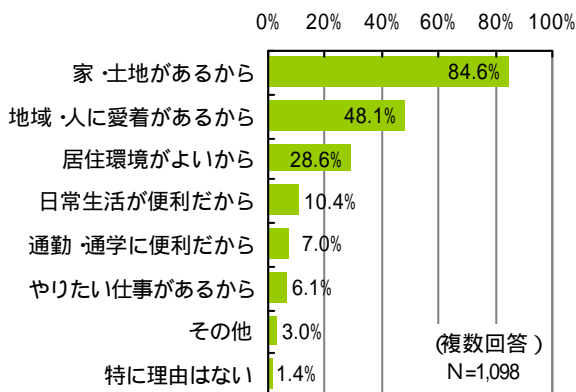
市外で暮らしたい場合の希望居住地



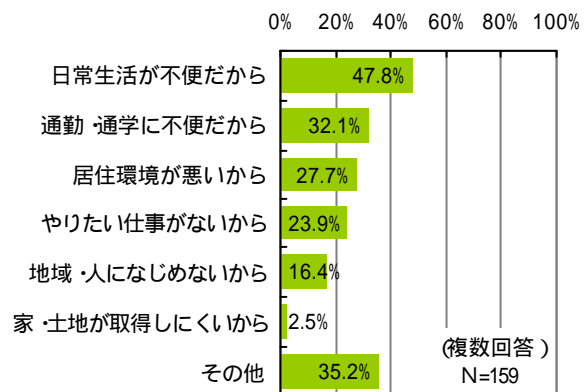
恵那市で暮らしたい理由としては、「家・土地があるから」、「地域・人に愛着があるから」が多くなっています。

市外で暮らしたい理由としては、「日常生活が不便だから」や「通勤・通学に不便だから」が多くなっています。

恵那市で暮らしたい理由



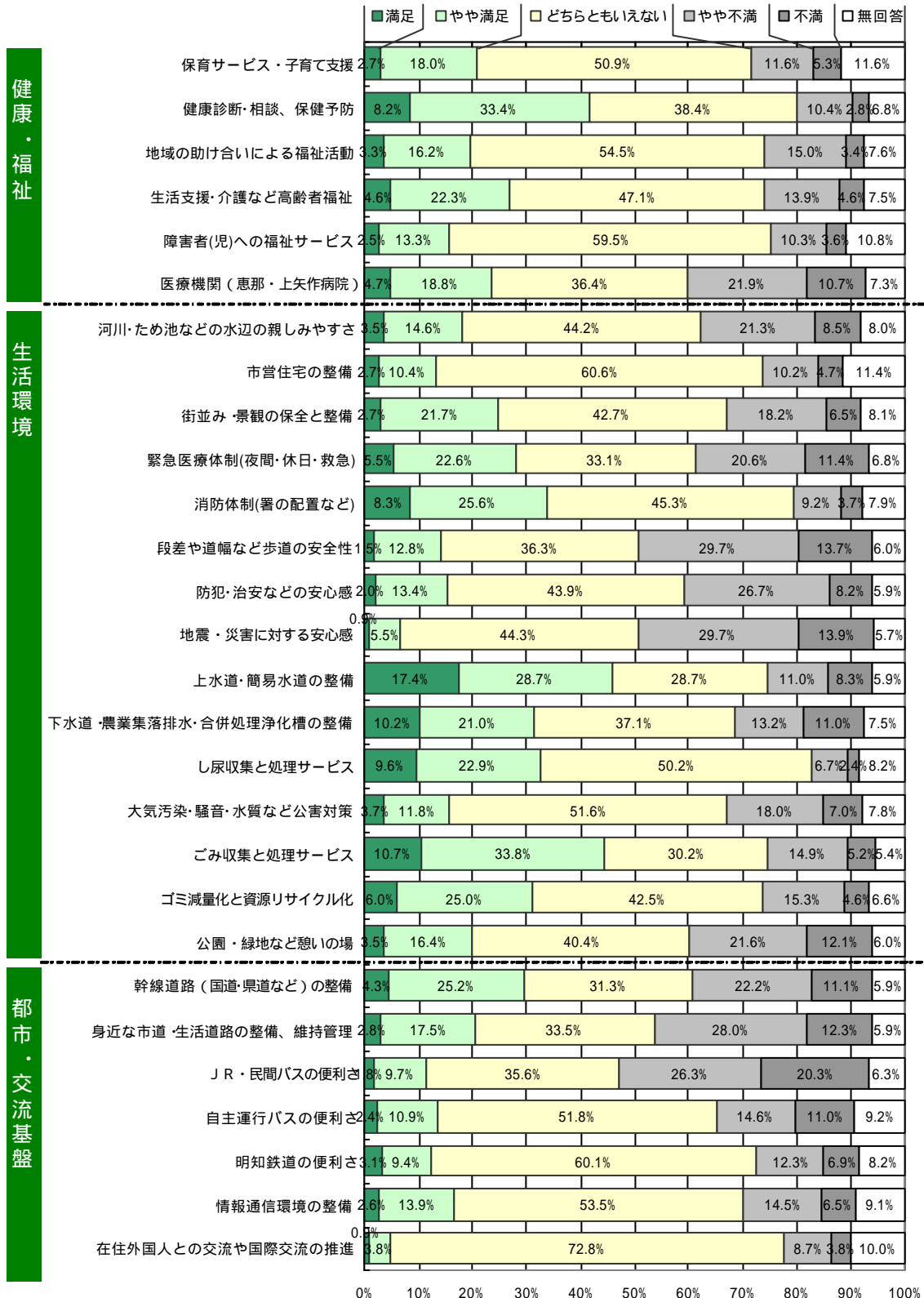
市外で暮らしたい理由



# 3 市政に対する評価

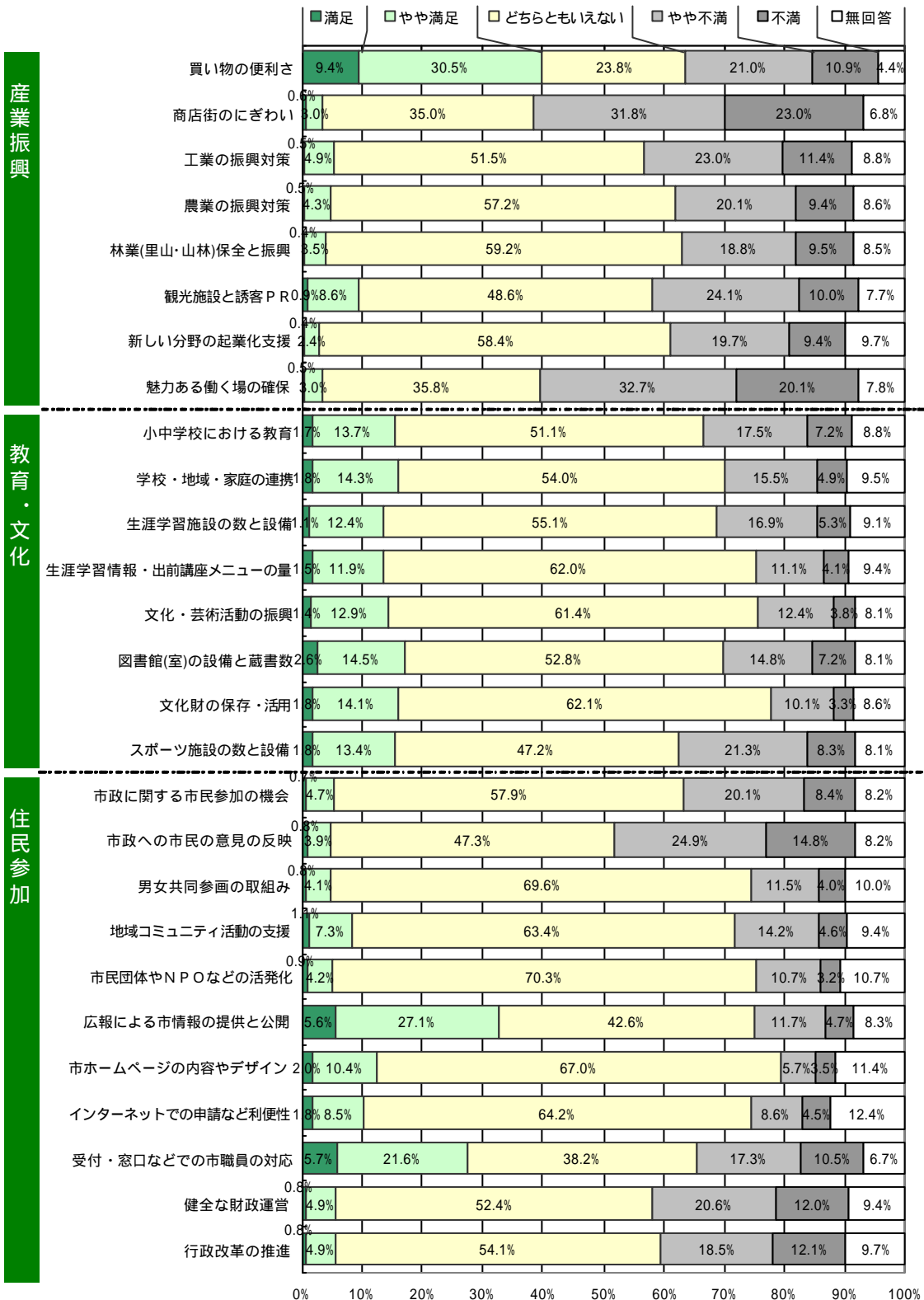
個別施策 55 項目に対する満足度を調査しました。

満足度の高い施策としては、「上水道・簡易水道の整備」、「ごみ収集と処理サービス」、「健康診断・相談、保健予防」などがあがっています。一方、不満度の高い施策としては、「商店街のにぎわい」、「魅力ある働く場の確保」、「JR・民間バスの便利さ」などがあがっています。



満足度の高い施策 トップ10	満足度
上水道・簡易水道の整備	46.0%
ごみ収集と処理サービス	44.4%
健康診断・相談、保健予防	41.6%
買い物の便利さ	39.9%
消防体制(署の配置など)	33.9%
広報による市情報の提供と公開	32.6%
し尿収集と処理サービス	32.5%
下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.2%
ゴミ減量化と資源リサイクル化	31.0%
幹線道路(国道・県道など)の整備	29.4%

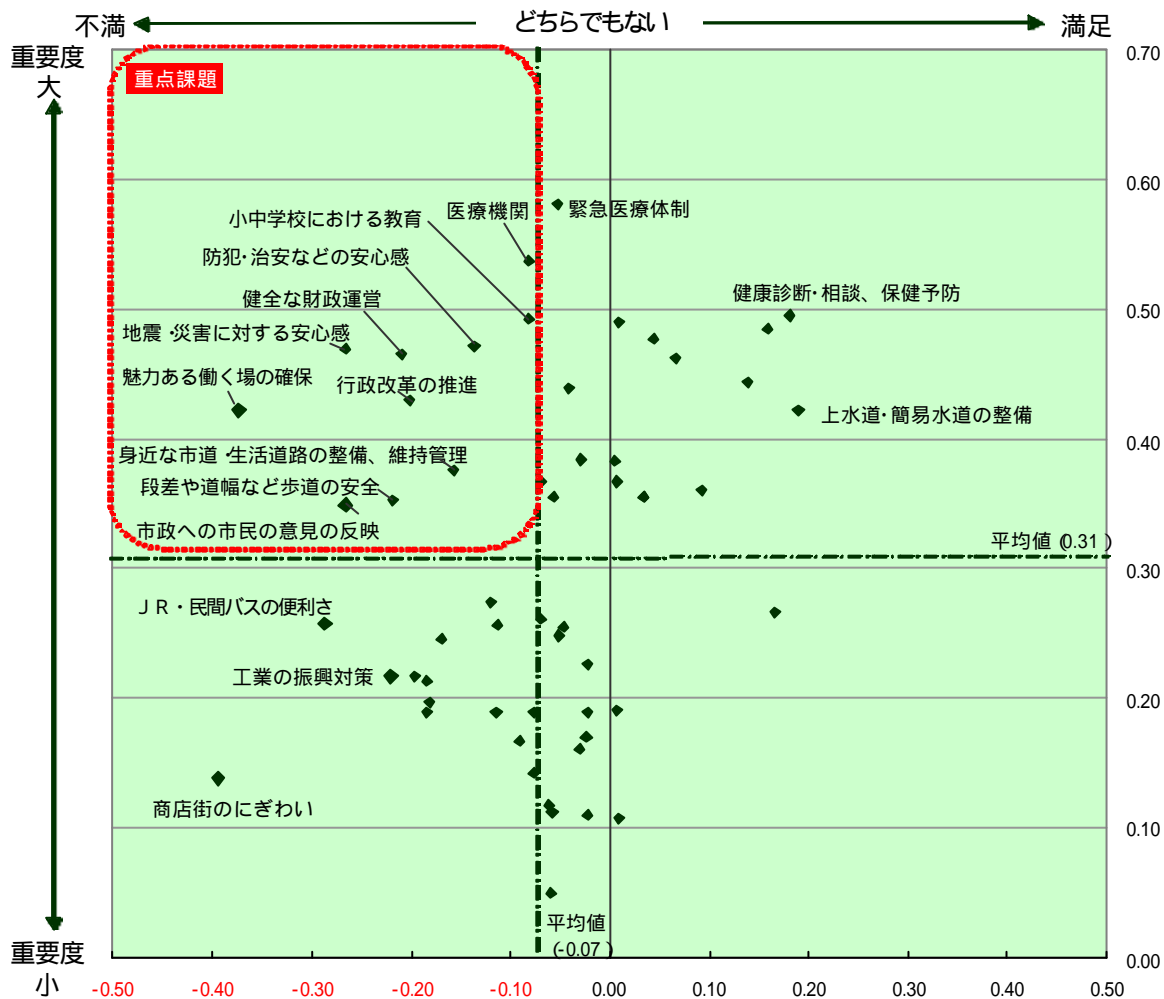
不満度の高い施策 ワースト10	不満度
商店街のにぎわい	54.7%
魅力ある働く場の確保	52.8%
J R・民間バスの便利さ	46.6%
地震・災害に対する安心感	43.6%
段差や道幅など歩道の安全性	43.4%
身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.3%
市政への市民の意見の反映	39.7%
防犯・治安などの安心感	34.9%
工業の振興対策	34.4%
観光施設と誘客PR	34.1%



# 4 今後のまちづくりへの期待

## 満足度・重要度指数による各施策の評価

個別施策 55 項目の満足度評価と重要度評価を点数化してそれぞれの指数を算出し、満足度指数と重要度指数を 2 軸のマトリックスで示すと以下の図のようになります。



### 満足度指数の算出方法

満足	1.0
やや満足	0.5
どちらともいえない	0
やや不満	-0.5
不満	-1.0

全回答者の平均点を満足度指数とします。

### 重要度指数の算出方法

重要	1.0
やや重要	0.5
どちらともいえない	0
あまり重要でない	-0.5
重要でない	-1.0

全回答者の平均点を重要度指数とします。

## 個別の課題・計画に関する重要施策

個別の課題・計画について、回答率の高かったものを示します。

(複数回答)

Q 安心して子育てするために必要なことは？	
子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策	41.5%
乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービス	36.8%
育児休業制度など子育てと仕事が両立できるような就業環境の整備	32.4%

合併後、乳幼児医療費の助成が拡大したこと	
知っている	40.7%
知らなかった	53.3%
無回答	6.0%

(複数回答)

Q 災害に対して不安に思うことは？	
大地震により建物・家屋が倒壊すること	61.4%
地震や集中豪雨発生後、ライフラインが機能停止すること	43.8%
避難場所での生活全般のこと	27.1%

(複数回答)

Q 公共交通サービスの充実について望むことは？	
J R・民間バスの利便性の向上を図る	44.8%
自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る	40.6%
乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する	38.9%

(複数回答)

Q 早期に実現してほしい情報通信基盤は？	
携帯電話の不感地域の解消	35.5%
防災無線の整備、難聴地域の解消	29.0%
ケーブルテレビの提供地域の拡大	24.8%

### グリーンピア恵那跡地の活用について

余暇活動等に応じる広場等レクリエーションの場を目指す	28.0%
植林をして、山林に戻す	25.0%
自然環境学習等に関連したイベント等の開催ができる場を目指す	20.5%

(複数回答)

「活力あるまち」にするために重要な取り組み	
資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす	33.1%
産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える	30.0%
地域の資源や特徴を生かして地場産業を盛り上げる	26.8%

(複数回答)

小中学校教育に対して心配なこと	
子どもの道徳心やしつけの低下	57.9%
教職員の資質・指導力の低下	33.6%
子どもの学力の低下	30.5%

(複数回答)

子どもに小中学校教育で身につけてもらいたいこと	
良好な人間関係をつくる力など、社会生活に適應できる力	62.1%
他人への思いやりや感動する心	57.6%
読み・書き・計算など社会生活に必要な基礎となる知識、技能	31.6%

(複数回答)

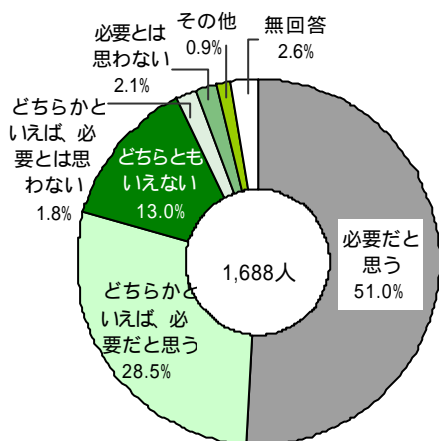
効率的な財政運営のために重点的に取り組むべきこと	
行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	49.8%
行政組織を簡素・合理化する	40.3%
行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に任せる	32.9%

# 5 市民参加のまちづくりについて

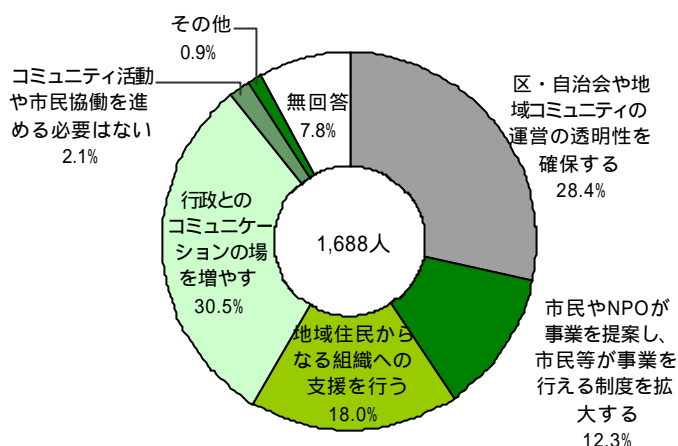
住民の行政参画や協働のまちづくりのあり方など、住民の意識改革の必要性について、「必要だと思う」51.0%、「どちらかといえば必要だと思う」28.5%で、意識改革の必要性を感じている方は8割近くを占めています。

地域コミュニティ活動や市民協働を推進するためには、「地域コミュニティ等の運営の透明性を確保すること」や「行政とのコミュニケーションの場を増やすこと」が必要だと考えられています。

住民の意識改革の必要性

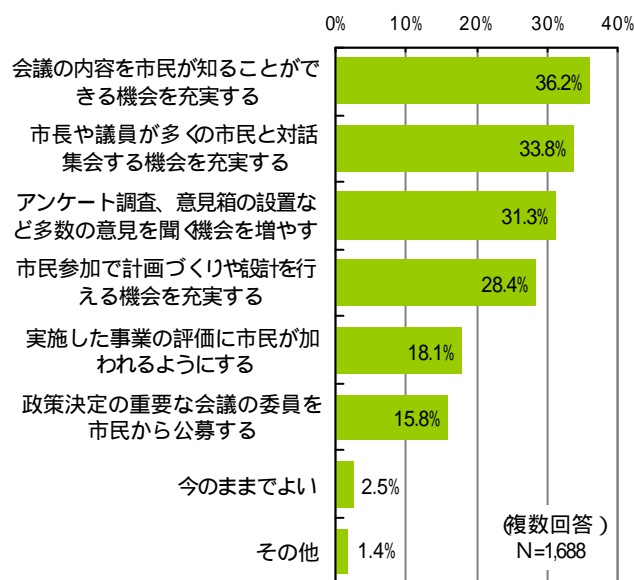


市民協働のために必要なこと



市民の意見を市政に反映させるためには、「会議の内容を市民が知ることができる機会を充実すること」や「市長や議員が多くの市民と対話集會する機会を充実すること」、「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やすこと」など、様々な手法が必要であると考えられています。

市民の意見を反映するために必要なこと



調査にご協力いただきました市民の皆様ありがとうございました  
総合計画に関する情報は、恵那市ホームページでも紹介していますのでご覧ください

<http://www.city.ena.gifu.jp/plan/>

総合計画に関するご意見、ご質問は、企画部政策調整課 まで

〒509-7292 恵那市長島町正家1丁目1番地1

TEL 26-2111 (内線) 331 FAX 25-6150

担当 千藤、和田

Mail: info@city.ena.gifu.jp